



福島放技ニュース

THE NEWS OF THE FUKUSHIMA ASSOCIATION OF RADIOLOGICAL TECHNOLOGISTS

2016

7月22日号

153
VOL.

発行所 公益社団法人 福島県診療放射線技師会

〒960-8003 福島市森合字蒲原16-7 TEL/FAX 024 (59)1043

ホームページアドレス <http://fart.jp/>

巻頭言

Keep moving forward.



会長 新里 昌一

If you can't fly then run, if you can't run then walk, if you can't walk then crawl, but whatever you do you have to keep moving forward.

以前、院内の脳外科勉強会の案内に載っていた英文です。英語が苦手な私がネットで検索したところ、有名なキング牧師の言葉だとわかりました。知らなかったことに恥ずかしさを覚えました。また、良い言葉だと改めて感銘を受けました。

そのキング牧師のゆかりの教会で、2015年に人種差別の白人による黒人射殺事件が起きました。テロには屈しないアメリカも、この手の事件は後を絶ちません。銃規制も何度も問題になりますが、依然として進みません。

「飛べないなら走れ、走れないなら歩け、歩けないなら這え、だが何をするにせよ前に進み続けねばならない。」キング牧師の目標や夢をかなえるためには、そうすることが必要だったのだと思います。

職場の中では、技師の2極化が進んでいるように思います。ある技師は、日常の疑問点を解明しようと勉強・努力しています。プライベートな時間を削り、研究会に参加して多くの知識を得、資格取得にも頑張っています。当然、仕事より、プライベートを最優先する技師もいます。良い悪いは別にして、志がないと仕事の質には大きな影響があります。

今年は、統一講習会が各地区で予定され、計4回開催されます。ぜひ、高い志を持って参加をお願いいたします。確かに15000円は高いですが、けして無駄にはなりません。

県内では、技師養成の大学構想が進み具体化してきました。ぜひ、修士や博士を持った県内の技師が、先生として活躍して欲しいと思います。技師会でも、全面的に応援・協力をを行います。

2015年10月末、ある漫画雑誌に診療放射線技師が主人公の漫画が掲載されました。SNSで話題になったので、セブンで立ち読みしました。設定や内容は、突っ込みどころ満載ですが、技師の社会的な認知が多少進んだと考えます。それは、毎年の一般公開講演会や各地区の健康祭り等であり、原子力防災訓練等で活躍する姿でもあります。今年から全国で各県にサーベイチームが発足しました。

1つひとつは小さな1歩ですが、キング牧師を見習って我々技師も前進して行きましょう。会長になり1年が経過しましたが、今後ご協力をお願いいたします。

～お 知 ら せ～

▶ 『会員情報変更』手続きのご案内

ネットワーク委員長 菅野和之

会員情報（勤務先、住所、氏名等）に変更があった会員の変更手続きが県技師会ホームページ上から行えるようになりました。

技師会ホームページの「会員・医療従事者の方へ」の「入会・登録情報変更について」、「県技師会登録情報変更のページ」にお入りいただき、それぞれ加入されている技師会の手順に従って変更手続きをお願いいたします。

メールマガジン登録方法の案内

福島県診療放射線技師会のメールマガジン配信を希望する方は、

fart@star7.jp

に空メール（件名・本文なし）を送信してください。登録完了メールが届きます。

以上で登録完了です。

メールマガジンでは、分科会、勉強会、学術講演会、地区行事開催案内等のお知らせ、また、緊急に会員の皆さんにお知らせする内容等について配信いたします。

▶ 第16回福島県乳腺画像研究会

開催日時 平成28年9月3日(土) 13:45～17:00

開催場所 福島県農業総合センター

郡山市日和田町高倉字下中道116番地

TEL: 024-958-1700

(本宮ICから車で5分)

<プログラム>

情報提供

第一三共株式会社 及び コニカミノルタ

[研究会 i]

乳腺エコーの画像の特徴「MMGとの対比」(仮)

北福島医療センター 高橋 遥

マンモグラフィにおけるポジショニングの基礎

北福島医療センター 平井和子

[研究会 ii 実習]

各施設の画像評価

各施設から実際の画像やデータをお持ちいただき、その画像から、ポジショニングを中心とした改善点などについてディスカッションを行い、今後の撮影に役立てていただきたいと思います。

*後日、研修会案内をお送りいたします。

(県技師会HPもご確認ください)

▶ 女性診療放射線技師ワーキンググループ

第1回東北地区合同勉強会「ゼロから学ぼう乳腺」

日時 : 平成28年8月20日(土) 13:30～17:15

場所 : 東北大学医学部附属病院

星稜会館オーデトリウム

講義1 「乳がん検診の今後の展望

将来の乳がん検診はこう変わる?! 」

東北大学病院 診療放射線技師 斎 政博

講義2 「ゼロからのマンモグラフィの基礎・画像の読み方」

仙台赤十字病院 診療放射線技師 福田真紀

講義3 「ゼロからの乳腺超音波の基礎・画像の読み方」

宮城県対がん協会 臨床検査技師 小野博美

講義4 「乳房画像診断総整理!

次のステージに向かって 」

東北中央病院 放射線科 医長 朽木 恵

*開催案内については、「第16回福島県乳腺画像研究会」の案内と一緒に送りいたします。

【お詫びと訂正】

会報 (2016 No.52) に誤りがありました。

下記の通り訂正し、お詫びいたします。

P17

(誤) 講師 長野赤十字病院 教授 寺澤和晶 先生

(正) 講師 長野赤十字病院 寺澤和晶 先生

校正過程で発生した誤植のため、原稿を書きくださった縦山誠治さんには、ご迷惑をおかけいたしました。深くお詫びいたします。

P124

(誤) 災害対策委員会 委員 遊佐 烈

(正) 災害対策委員会 委員長 遊佐 烈

校正過程の確認不足です。深くお詫びいたします。

編集広報委員長 平井和子

～会長「オンレコ」～

1. 「日本診療放射線技師会定時総会に出席」

6月11日(土)に日放技定時総会が開催されました。福島県から代議員として、斎藤事務局長、遊佐副会長と共に出席しました。総会では、宮城県から統一講習会の受講料が高いとの批判も出ました。しかし、会場費やファントム代での正当性を訴えるだけに終始しました。2億円もの国債を保持する意味？切り崩して受講料を減らすとの考えはないようです。各議案は、賛成多数で採択されました。

また、前日の10日(金)には代議員研修会が開催されました。こちらは、参議院選挙関係の研修会でした。

2. 「フレッシューズセミナーの開催」

6月12日(日)に太田西ノ内病院で開催されました。県内の新人25名が参加して、「社会人のマナー・エチケット」「安全管理」「感染対策」「胸部解剖」等の講習を受けました。

最後に、私から「入会案内」を話して終了し、各自に受講証明書を渡しました。少しでも技師会に関心を持ち、入会してくれる事を望みます。

3. 「名誉会員ご逝去」

訃 報

本会第4代会長を務められた名誉会員大木 晁氏が去る5月16日逝去されました。本会から新里会長が22日、告別式に参列し、弔意を述べましたこと報告いたします。

「フレッシューズセミナーを受講して」と題して、今回は3名の方々に寄稿頂きました。

総合南東北病院 診療放射線科 神長 優佑さん

4月から社会人としてスタートし、現在は各モダリティをローテーションして、先輩方から技術や知識を教えて頂き、学んでいます。早い段階から様々なモダリティを経験することで、覚えることは沢山あり、知識の整理や技術の習得に苦労する場合がありますが、他のモダリティと考え方が共通することで理解が深まったり、やり方を応用したりできるなどのメリットがあると感じました。また、同期の仲間と練習したり、教え合ったりして、知識や技術の習得に日々努めています。

業務内容や職場の雰囲気に対し慣れてきたこの時期のセミナー開催は、改めて社会人として必要な作法や医療人、診療放射線技師として理解しておくべき知識を再確認する良い機会となりました。

電話の対応では、直接お会いして情報の連絡を行う場合よりも、正しく情報が授受できているか、相手に失礼の無い対応をしているか意識することが必要です。撮影中や画像処理中の対応では、まだ余裕が無く、対応が粗雑になってしまいました。そこで、電話を受ける、かける時には一呼吸置いて少し余裕を持つことで改善したいと思います。

安全な医療の提供していく上で、失敗を未然に防ぐためには、確認を怠らず、よく考えることや、人間は間違えることを認識した上で行動する必要があります。忙しいと余裕が無く、十分な確認を行えないことがありました。仕事の習熟と共に、確実にチェックできるように意識していきたいと思います。また、普段から防護用具を用途に合わせて正しく使用し、手洗いを積極的に行うことで、標準予防策を習慣化して、非常時にも対応できるように実践していきたいと思います。

CT画像を様々な方向から観察し、気管支の区分け毎に色分けし、気管支体操を行うことで、気管支の構造の理解が深まりました。続けて胸部撮影の手法や画像の見方、疾病の所見を学びました。セミナー後、見るべきポイントを意識して画像を見ることを心掛けています。今後、撮影手技の向上だけではなく

く、読影の判断力も養っていきたいです。

今回のセミナーで学んだ知識や経験を活かして、公正で安全であり、患者さんが安心に感じる医療を提供できる診療放射線技師を目指して努力してまいります。

大原総合病院 画像診断センター所属

中條 柚香さん

フレッシューズセミナーに参加し、社会人として、また、医療人として勤務する上で非常に大切なことを多く吸収できました。まだまだ社会人としてのマナーやエチケットに十分に気を配れていなかったと痛感しました。入社して間もなく行われた研修を思い出しながら今回のフレッシューズセミナーを受講し、日々の業務での電話対応、接遇や言葉使いなどで改善しなければいけないところも自分の中で整理できたのではないかと思います。医療安全や感染対策では、病院で行っている感染対策セミナーと併せて、より正しい知識を理解することができました。HIVやB型肝炎疑いの患者さんの血液を浴びてしまった時の対応の違いを明確に知らなかったので、自分の知識不足を思い知らされました。マニュアルやガイドラインを知っているだけでなく、きちんと理解し、実践できるようにしなければ意味はないのだと改めて感じました。また、気管支解剖の講座では、気管支を色別に区分し、体を動かして覚えることでただ画像を見て覚えるよりも頭の中でイメージしやすく、楽しんで覚えることができました。気管支の解剖を知り、CT画像での見方を学ぶことができたので今まで以上に胸部の単純画像やCT画像を理解しながら見ることはできないのではないかと感じました。時間があるときには自分なりに異常所見がないか確認し、先輩技師に質問し、更なるスキルアップをしていきたいです。

病院へ勤務してから2か月が経ちました。学校で学んだ知識が役に立たない場面が多く、その場の臨機応変な対応が求められることに未だに対応しきれないと感じます。救急や整形で撮影部位が固定されている方の撮影にどうしたらいいのかと考える

時間が長く、先輩技師にサポートしてもらっているのが現状です。もう少ししたら新人も遅番、当直や日直に入り始めます。それまでにしっかりと教科書通りの基礎的な撮影法を身に付け、そこから様々な状況にあった撮影の方法を考えていき、焦らずに落ち着いて撮影ができるようになるようにしていきたいです。

一般財団法人温知会 会津中央病院

副診療部放射線科 野上 彰久さん

入社してから二か月程経過し、自分の知識不足を実感する毎日が続いています。そのような中でフレッシューズセミナーを受講し、医療に携わる者として必要なことを学ぶことができました。エチケットマナーの講座では、社会人として身に付けておくべき常識を学ぶことができました。初心を忘れずに社会人としてふさわしい振る舞いを身につけなければならないと感じました。医療安全の講座では、実際にあった医療事故について知ることができ、今後自分が医療事故を起こさないため、業務を進めていく上でどこに注意すべきかを把握し、確認作業を怠らないことが重要だと感じました。感染対策の講座では、N95マスクのつけ方や手洗いの仕方など基本的なことを学ぶことができました。また、エプロンや手袋の外し方なども学ぶことができ、今後に生かせるようにしたいと思いました。感染対策については更に知識をつけるべきだと感じました。気管支解剖の講座では、何度もブロンコ体操をするうちに気管支の位置関係を理解することができました。また、胸部のリンパ節の位置や胸部CTでの気管支区域の見方なども学ぶことができ充実した内容でした。初め、気管支に色を塗る作業があり、その際は位置関係を理解するのに苦労したが、ブロンコ体操を何度もすることによって気管支の位置関係を覚えることができました。思ったよりも簡単に覚えることができ、さらに理解を深めたいと思いました。胸部撮影の講座では、胸部の疾患について臨床画像を用いての解説だったので理解を深めることができました。一般撮影で一番多いのが胸部撮影なので、本日の内容を

意識しながら今後の撮影に生かしていきたいと思いました。今回のフレッシューズセミナーを通して、医療に携わるものとして、また、診療放射線技師として必要な知識を学ぶことができたと思います。これからも更に多くの知識を習得していけるように業務に励みたいと思いました。

セミナーに参加された皆さんお疲れ様でした。

神永さん、中条さん、野上さんお三方の原稿を読ませて頂き、昔を思い返し、「初心を忘れずに！」と自分に言い聞かせました。 (白石)

～研究会参加報告～

▶ 「第16回福島県MRI技術研究会」

平成28年5月28日 福島テルサにて開催され、73名の参加がありました。

より良いMR画像を取得するための造影剤のテクニックや安全管理「SARとB1+rms」など基礎的な内容から、



(写真：研究会の様子 多くの会員が参加しました)

シンポジウムは「頭部MRI検査におけるプラスワン・テクニック」と題して各施設のルーチン検査にプラスしている工夫点が話されました。

技術講演では、MRで大変活躍されている東京慈恵医科大学 北川 久先生と長野市民病院 小林正人先生を迎え、MRの基礎をわかりやすく教えて頂きました。研究会全体を通し、日常の業務に活かせる点が多く、若いスタッフにも参加させたい内容でした。 (國分)

地 区 だ よ り

会 津 地 区

「第90回会津画像研究会」開催

平成28年7月1日(金)に以下の勉強会が開催されました。

場所： 会津医療センター2F 第4会議室

演題：

1. 「ゾーフィゴ (塩化ラジウム223Ra) の製品紹介」
バイエル薬品 (株)

腫瘍・血液領域事業部 松成 健氏

2. 「実物大臓器モデル作成のための
データ処理と出力方法の選択」
キャノンライフケアソリューションズ (株)

後藤 秀基氏

今回説明していただいた「ゾーフィゴ」は骨転移を有する去勢抵抗性前立腺癌に対する有効性が確認された世界初のアルファ線放出放射性医薬品です。このアルファ

線によって隣接する細胞において高頻度にDNA二重鎖切断をもたらし、骨転移に対して強力な抗腫瘍効果を発揮できます。

その一方、アルファ線の組織内飛程は100μm未満と短いため、骨髄などの正常組織への毒性は低いとされているそうです。

キャノンの後藤氏には、3Dプリンタを用いて、CT画像から実物大の臓器モデルを作製するためのシステムについて説明していただきました。整形外科などの分野において、術前に撮影したCT画像から、手術用に実物大臓器モデルを作製することで手術前のプレートベンディングや複雑な三次元構造の把握に大変役に立ちます。また、患者への術前説明の際も、この臓器モデルを用いるとわかりやすく説明を行うことができるそうです。

(浅川)

県北地区

「学術講演会

第10回画像診断・病院連携懇話会」開催

H28年7月7日ホテル辰巳屋「端雲」にて学術講演会(画像診断・病院連携懇話会)開催される。始めに学術情報として第一三共よりリクシアナの効果について情報提供があり、一般演題では座長を大原綜合病院森谷浩史先生に務めて頂きました。

・福島県における画像診断機器の設置状況と

県北エリアの運営状況

北福島医療センター 丹治 一先生

・届出感染症の画像診断

大原綜合病院 箱崎 元晴先生



(写真：講演会の様子 関心の高さが窺えました)

以上の発表があり、特別講演では座長を福島県立医科大学名誉教授 宍戸文男先生が務め「腎・尿路の画像診断の変遷と現状」と題して慶應義塾大学医学部 放射線科学教授 陣崎雅弘先生の講演があり、腎腫瘍診断の歴史と現状が分かりやすく説明され、大変勉強になる内容でした。

「県北地区夏季勉強会および交流会」のご案内

日時：平成28年8月27日(土) 15時30分～

場所：福島テルサ4F 「つきのわ」

内容：

「業務拡大に係る統一講習会について」

福島県放射線技師会 新里 昌一会長

「外科医が望む画像とは」

福島県立医科大学 器官制御外科学講座

講師 門馬 智之先生

終了後に交流会を予定しています、多くの方の参加をお待ちしております。(安藤)

県南地区

平成28年度 県南地区協議会

サマーセミナーの開催について

県南地区協議会で平成28年7月30日(土)に、恒例の「サマーセミナー」を郡山市「ビッグアイ」にて開催致します。

放射線技師の皆さんが関心や興味を持てることをテーマに取り上げ、共に学びたいと思います。

サマーセミナー終了後には懇親会を催しておりますので他の職場の方々と、普段話せない事や聞けない事等も語り合えます。

フレッシュな方からベテランの方まで、技師会に加入してなくても参加できますので、職場の仲間を誘い合って是非ご参加ください。(県南学術 篠原)

会費の納入はお済ですか？

納入期限は9月末まで
お早めをお願いします。

編集後記

今年も半分が過ぎ、盛夏を迎えます。11月開催学術大会の演題募集も始まりました。日常に流されず、ちょっとした疑問、関心事をこの夏に突き詰めてみたいと考えています。みなさんも一緒に如何でしょうか。

星綜合病院 白石